

2 サカツラガン

(カモ目)

Anser cygnoid

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:調 通過個体群:調

環境省ランク: DD

種の概要

中央アジアからモンゴル、シベリア東南部、サハリン北部などで繁殖する。繁殖後は中国、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。古くは日本各地に渡来し越冬するものが稀ではなかったらしいが、1950年前後に激減し、その後は全国的に比較的稀に観察される程度となっている。広い湖沼や干潟、湿原、沼沢地、水田などに生息する。



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

国内分布

北海道、南千島、奥尻島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、屋久島、奄美大島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

伊丹市、小野市、加西市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争圧	特殊 捕食圧	特殊 繁殖環境	特殊 採餌環境	ね特殊 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

Aランクから要調査ランクに変更。

県内では主に11-翌4月に記録がある。古くは1952年11月に伊丹市昆陽池でヒシクイ52羽の群れに混じる4羽、1957年1月に小野市鴨池でヒシクイ198羽の群れに混じる1羽、1989年には1月から4月に加西市逆池で1羽が観察されている。最近では2018年に稲美町で1羽が観察されている。いずれも極めて稀な記録で、現在は迷行的渡来状況にあると考えられることから要調査ランクに変更した。

保護上の留意点

広い干潟や湖沼、湿地、農耕地などの自然豊かな湿地環境の保全・再生が重要。